

おぼえよう 文学作品

文学作品は時代、著者名と作品と一緒に覚えるようにしてください。ここでは時代ごとに有名な作品を集めています。

日本文学

奈良時代

古事記

稗田阿礼が覚えていた神話や伝説を太安万侶が書き記した日本最古の歴史書。

日本書紀

神代から持統天皇までの歴史を記した歴史書。

万葉集

大伴家持の編集といわれる日本最古の歌集。

平安時代

古今和歌集

紀貫之らが編集した歌集。

竹取物語

かぐや姫の生い立ちから月に帰るまでを描いた物語

土佐日記

紀貫之が書いた土佐から京都までの旅日記。

枕草子

清少納言が書いた随筆集。

源氏物語

紫式部が書いた長編小説。

今昔物語

仏教などの説話を集めた説話集。

鎌倉・室町時代

新古今和歌集

藤原定家らが編集した歌集。

方丈記

鴨長明が書いた随筆集。

平家物語

源氏と平家の戦いを描いた軍記物語。

徒然草

吉田兼好が書いた随筆集。

御伽草子

女性や子ども向けの短編物語。

江戸時代

奥の細道

松尾芭蕉が門人らと江戸から奥羽・北陸を経て伊勢に向かう

までの紀行文で、多くの俳句が収められている。

東海道中膝栗毛

十返舎一九が書いた小説。

南総里見八犬伝

滝沢馬琴が書いた長編小説。

おらが春

小林一茶が書いた随筆・俳句集。

明治・大正・昭和時代

二葉亭四迷

浮雲

幸田露伴

五重塔

樋口一葉

たけくらべ にごりえ

尾崎紅葉

金色夜叉

国木田独步

武蔵野

与謝野晶子

みだれ髪

小泉八雲

耳なし芳一

夏目漱石

吾輩は猫である 坊っちゃん 草枕

伊藤左千夫

野菊の墓

島崎藤村

破戒 夜明け前 若菜集

田山花袋

蒲団 田舎教師

永井荷風

あめりか物語 ふらんす物語

長塚節

土

石川啄木

一握の砂

斎藤茂吉

赤光

高村光太郎

道程

森鷗外

山椒大夫 阿部一族

芥川龍之介

羅生門 鼻 くもの糸 杜子春 トロツコ

菊池寛

父帰る

有島武郎

或る女 小さき者へ 一房のぶどう

志賀直哉

暗夜行路 小僧の神様

武者小路実篤

友情

井伏鱒二

屋根の上のサワン 山椒魚

宮沢賢治

風の又三郎 銀河鉄道の夜 オツペルと象

小川未明

赤いろうそくと人魚

川端康成 かわばたやすなり
山本有三 やまもとゆうぞう
林芙美子 はやしふみこ
谷崎潤一郎 たにざきじゆんいちろう
室生犀星 むろうさいせい
柳田国男 やなぎたくにお
新美南吉 にいみなんきち
堀辰雄 ほりたしお
太宰治 たざいあさむ
獅子文六 ししぶんろく
坪田譲治 つぼたじょうじ
下村湖人 したむらこじん
木下順二 きのしたじゆんじ
三島由紀夫 みしまゆきお
竹山道夫 たけやまみちお
壺井栄 つぼいさかえ
松谷みよ子 まつたに
井上靖 いのうえやすし

伊豆の踊子 いずのおどりこ
雪国 雪国
真実一路 まこといちろ
路傍の石 路傍の石
海彦山彦 うみひこやまびこ
放浪記 ほつろふき
蓼食ふ(う)虫 たぐい
細雪 細雪
あにいもつと
桃太郎の誕生 桃太郎の誕生
こんぎつね おじいさんのランプ
風立ちぬ 風立ちぬ
走れメロス 走れメロス
人間失格 人間失格
自由学校 自由学校
風の中の子ども 風の中の子ども
子どもの四季 子どもの四季
次郎物語 次郎物語
夕鶴 夕鶴
彦一ばなし 彦一ばなし
わらしべ長者 わらしべ長者
金閣寺 金閣寺
潮騒 潮騒
ビルマの豎琴 ビルマの豎琴
二十四の瞳 二十四の瞳
龍の子太郎 龍の子太郎
あすなる物語 あすなる物語
しろばんば しろばんば
天平の躑 天平の躑

海外文学

ビクトル・ユーゴー	レ・ミゼラブル
メーテルリング	青い鳥
ローリングス	子鹿物語 <small>こじか</small>
ヨハンナ・スピリ	アルプスの少女
スウィフト	ガリバー旅行記
デフォー	ロビンソン・クルーソー
ジュール・ベルヌ	十五少年漂流記 <small>ひょうりゅうき</small>
フランシス・バーネット	小公子
シートン	動物記
アンリ・ファール	昆虫記 <small>こんちゅう</small>
スチーブンソン	宝島
ウィーダ	フランダーズの犬
オルコット	若草物語
エクルト・マロ	家なき子
レフ・トルストイ	イワンのばか
コロツデー	ピノキオ
アンクル・トムの小屋	ストー夫人
ルーシー・モンゴメリ	赤毛のアン <small>あかげ</small>
ジーン・ウエブスター	あしながおじさん
ミヒヤエル・エンデ	モモ
ヘルマン・ヘッセ	車輪の下 <small>しゃりん</small>
シェークスピア	ベニスの商人
サン・テグジュペリ	星の王子様